

---

## 編集後記

---

校正中とて素晴らしい2編の論文に出会いましたので紹介します。『豊栄病院救外須貝真由美看護師著、救外受診の適正利用』と『糸病臨床検査堀田朝美検査技師著、異常ヘモグロビン4症例』です。前者は現在の医療資源の有効利用に関しての現場からの提言が的を射たものでした。編集者も卒業後35年経ちますが救外業務が旧態依然として全く改善されていないことが残念です。後者は日常業務としての糖尿病検査をきっかけとした地域疾患集積性に着眼し、更に、遺伝子検査に言及した好論文でした。以前より、本部に素晴らしい論文には記念の表彰をしてほしいと願っているのですが、まだ論文作成のインセンティブが確立されておらず残念な限りです。が、論文はインターネット配信されており、全国で興味深く読んでいただけるものと溜飲を下げております。

次に、蛇足とは思いましたが、投稿原稿に際してのお願いとホームページ上での公開の宣伝に関して述べさせていただきます：

### 1. 投稿規程の順守：

投稿規定を掲載周知して10年となりますが、まだ投稿規定を順守していない投稿原稿が目立ちます。いまだに、編集校正の主体が、原稿内容の吟味でなく、投稿規定の指導が主体になっていることは残念でなりません。是非、厚生連医誌投稿規定 <http://www.nkp-center.jp/>の分野別投稿原稿雛型をプリントして参照して記載してください。

### 2. 論文の趣旨：

読者は最初に表題と抄録を読んで著者の言わんとするところの幹を押さえますので、以下の本文を容易に理解してもらう為にも重要です。著者は今回の研究の結論を1本の幹として原稿の最初から終わりまで終始ブレることなく記述していただくことが肝要です。一般化していることや孫引き論文を詳述することは本意ではなく、今回の研究目的につなげる導入として「緒言」に簡潔にまとめてほしいものです。緒言以下の本文においては、方法・結果に本研究に限定した科学的事実をわかりやすい文章で記述していただきたいと思います。キーワードは重要語句のみではなく、インターネット検索の利便性を考慮して多数記載してください。

### 3. 統計処理：

アンケート解析の折は、『今里健一郎著、Excelで手軽にできるアンケート解析—研修効果測定からISO関連のお客様満足度測定まで—。日本規格協会。東京。2008。(定価2900円)』の参照をお勧めします。また、インターネット対応としては、以前よりお世話になっております首都大東京健康福祉学部猫田先生の「保健医療領域におけるデータ解析支援システム」<http://weber.hs.tmu.ac.jp/cat>を読まれると、どのようにアンケートを取って解析したらよいか箇条書きに書かれており、笑いながら読めて大変参考になります。

### 4. ホームページ：

本誌も創刊1984年以来、28年が経過しました。厚生連の広報文書の性格を前面に出して出版してまいりましたが、出版部数が極めて少数であり、情報公開とペーパーレスの時代にはそぐわないと考えておりました。本主旨に沿うべくJA新潟県厚生連医誌の全掲載論文をホームページ上で全文公開する事業を立ち上げてから5年となりました。インターネット上での抄録掲載または散発的掲載はしばしば目にいたしますが、学会雑誌の全論文掲載の前例は無いと思います。その結果、最近、本誌掲載論文が文献引用されるようになり、ようやく本事業が軌道にのってきたと自負しております。この間、ホームページ掲載に関しては(株)新高速印刷林・厚生連長谷川両氏に大変お世話になり感謝しております。

再度、(A) 厚生連医誌の検索方法と、(B) 既刊発表論文の目次を掲載しました：

#### A. 厚生連医誌の検索方法：

##### 1. JA新潟県厚生連本部のホームページを開く。

または、旧病理センターのホームページ (<http://www.nkp-center.jp/>) を開く。

##### 2. トップページ上のサブリンク先「新潟県厚生連医誌」を選択して、厚生連医誌既刊全内容の目次一覧を開いて検索する(掲載内容は、Excel形式で、筆頭著者名、題名、西暦、巻、号、頁が表示されています)。

##### 3. 読みたい論文が決まったら、リンクボタン「論文を読む」または、直接 <http://www.janiigata.sakura.ne.jp/JMNK/jmnk.htm> を開いて、希望の論文を確認する。